

東京片貝会報

発行 東京片貝会
責任者 本田秀幸
〒146-0084 大田区南久が原2-32-10
電話 090-4831-5580

東京片貝会 平成28年新年会御案内

師走の候、皆様には益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。
猛暑の夏から秋の長雨へと足早に過ぎ、寒暖が身体に應える気候でございますが、皆様はいかがお過ごしでしょうか。
今回は会場を御徒町にある新潟県人会館に移して、下記の要領にて平成28年新年会を開催致します。
同級生の方やお友達を誘い合い、多数のご参加いただきますようご案内申し上げます。

日時
平成28年1月30日(土) *今回は土曜日
午後1時(正午より受付)

会場
新潟県人会館
東京都台東区上野1の13の6
TEL 03-3832-7619

会費
男性・5,500円
女性・4,500円
*返信は、1月15日(金)迄にお願い致します。



- 会場までのご案内
- ①東京メトロ千代田線「湯島駅」6番出口 徒歩1分
 - ②東京メトロ銀座線「上野広小路駅」A4番出口 徒歩5分
 - ③JR山手線・京浜東北線「御徒町駅」南口 徒歩6分
- *ホームから南口改札へ降りるエレベーターがあります。

会の動き

- 理事会 5/24
於 新潟県人会館
本田会長以下 16名
・案内状・会報発送
・新年会打合せ
中学校同窓祭・総会 6/14
於 総合センター
・本田会長出席
東京片貝会総会 6/28
於 東京グリーンパレス
・会員73名
・来賓・ゲスト36名
片貝祭 9/9・10
・厄年同級会・出発式挨拶
・本田会長以下13名
・浅原神社大祭
本田会長列席
挨拶回り小学校、中学校
・相撲棧敷懇親会降雨中止
教育講演会 10/9
於 片貝中学校
・本田会長、内藤会長、徳永理事
吉井宏理事葬儀 10/25
於 セレモニーホール錦
・本田会長有志参列
理事会 11/15
於 新潟県人会館
・本田会長以下10名
・活動報告
・総会総括
・新年会打合せ
アンケート結果のまとめ
返信181通中、118名の方から
何らかの回答を頂きました。

懸念された総会・新年会参加費について、約85%の方に現在の金額で妥当と回答頂きました。高いとの回答は総会・新年会参加回数にかかわらず約15%でしたが、約59歳以下では38%と多い結果です。
行事の会場が遠いことで、参加を見送っている方が結構いる一方で、同級生や旧知の顔見知りがあることが参加の大きな動機づけになっているとあらためて伺い知ることができました。
会報は4面の片貝に関する記事に関心を持って頂いています。ホームページの閲覧者は23名、継続希望は多く、工夫の余地ありでしょうか。
会報不要とする方が会出席回数に少ない人に多くありました。今後の運営について、個別事情も顧慮して理事会で話し合いたいと思います。

会員短信

江澤キヨ(昭19年卒) 残念ながら欠席です。皆様の楽しそうな様子を想像しながら会の発展をお祈り申し上げます。
星 シズ(昭19年卒) 長い間お世話になりました。楽しい時間を有難う御座いました。西山和子(昭19年卒) 私84歳となり今日一日を感謝しています。盛会をお祈りします。安達弘男(昭21年卒) 会が益々発展し盛会を続けられますように祈念致します。
大井悦子(昭21年卒) あっ馬が通るを繰り返して読み返した。片貝の思い出が蘇りました。小宮秀雄(昭26年卒) 写真ありがとうございました。次回はよろしく願います。
高野誠春(昭26年卒) シルバー人材で週二日働いています。黒崎 勝(昭28年卒) お世話になります。新年会の写真ありがとうございました。鯉島昭雄(昭29年卒) ご苦労様です。私は、腰が痛くて今回は行かれませんが、宜しく。吉井 均(昭29年卒) 個展ありがとうございました。工夫されていて、参加者が増えてほしいですね。
大矢佐知子(昭31年卒) 行事や踊りの会とたびたび重なり、都合がつけば出席したいと思っています。
吉井信三(昭32年卒) 体調を見ながら仕事を継続しています。出席できず残念です。
工藤イツ(昭35年卒) 久しぶりの片貝会、楽しみです。
山口正彦(昭和42年卒) 昨年調剤薬局を開局し地域の健康に貢献できればと思います。
栗原知子(昭41年卒) 皆様のご尽力に感謝しております。
浅田正行(昭47年卒) 同級生の高野昭人さんの短信を読み、出席を決めました。

第56回総会開催

平成27年6月28日
東京グリーンパレス

歌声朗々と響き 故郷に届け!

平成27年6月28日に第56回定期総会が開催されました。開会の辞に続き本田会長からご挨拶申し上げると共に、会の運営に関する近況などを皆様にお伝えしました。前回の新年会では、少子化で会員数が減少と活動への参加が低下する懸念がありました。今回の総会でこれまで以上の多数のご参加を頂きました。また、今回もJA越後おぢや様より魚沼産こしひかりを会員の方にお持ち帰り頂ける豪華なお土産を贈呈頂きました。

総会では、平成16年から11年ぶりとなる会則の改正案、年次の会計報告と会計監査について承認されました。広報から皆様からお寄せ頂くお手紙や記事への謝辞、母校を励ます会長の内藤さんから会員各位からのご厚情に感謝をお伝えし、南雲中学校教頭先生、楠田小学校教頭先生へ図書費の贈呈が行われました。

ご来賓より、大塚小千谷市長の代理として小千谷教育長である松井周之輔様、片貝町協議会会長である本田毅様よりご挨拶をいただきました。そして、前事務局長である陽光会の小宮善興さんから乾杯



【還暦「つくし会」を閉んで】

余興では、カラオケで素晴らしい歌声を披露して頂いたり、伝統芸能保存会のしやきり、希進会会長が切れ味のよい空手の型を披露、吉井宏さんと安達智子さんはギターとサクソフの演奏で盛り上げて頂きました。新人市議の大矢弘光氏からは熱い決意のほどが述べられ、締めは恒例の全員で輪になり歌う木遣りです。まさに片貝祭りの空気に満ちたお開きとなりました。

【来賓出席者(敬称略)】

本田毅(片貝町協議会会長)、大矢俊之(片貝町協議会幹事)、大矢弘光(小千谷市議会議員)、吉原正幸(片貝町体育協会会長)、吉田敏明(片貝町公民館館長)、根本忠(片貝医院院長)、古江慈識(片貝医院研修医)、松井周之輔(小千谷市教育長)、若井謙一(東京新潟県人会副会長)、小宮博行(JA越後おぢや常任理事)、吉原裕二(片貝中学校同窓会会長)、小野塚祐一(片貝中学校同窓会事務局長)、南雲真一(片貝中学校教頭)、楠田浩(片貝小学校教頭)、丸山英雄(片貝中学校PTA会長)、浅田功(つくし会会長、還暦)他3名、浅田弘幸(実生会会長・50歳)、黒崎健一(希進会会長・42歳)他3名、新野正樹、高橋昭雄(友心会)、佐藤正敏(片貝町伝統芸能保存会会長)他10名

【会員出席者(敬称略)】

(昭和17~30卒)
中川克子、石井ユリ、安達和三、阿部修次、神林勝夫、黒崎晴郎、佐藤安治、浅田義男、長岡利夫、大塚順一、中村恵美子、石川春子、横手俊一、荒木ムツ、佐藤祐一、藤塚浩治、松岡規子、吉原靖子、黒崎勝、本田正弘、吉井均、安達弘之、吉井ミチ子
(昭和31~39卒)
大塚國夫、小野塚清、黒瀬良子

【東京片貝会への「寄付」】

小宮善興、芝満雄、藤塚悟、諸我時夫、安達弘、五十嵐哲郎、工藤イツ、芝文夫、高波国男、木村隆、吉原敏明、大矢とらじ、鈴木映子、本田秀幸、松井京子、小野塚和夫、芝強、佐藤正志(昭和40卒)
相崎俊夫、岸井久美子、太刀川和雄、安達仁、安達徹、栗原知子、小林和弘、安達裕子、安達亮一、高坂清美、内藤富美子、藤塚弘、吉井宏、浅田正行、高野昭人、藤塚伸雄、安達智子、徳永隆浩、徳永雅史、松山朱実、相崎達也、吉原和則、安達良喜、堀井ひとみ、佐藤潤、吉田貴裕、相崎清輝、友田啓、佐藤瑞穂

片貝の俳句

立志会 阿部修次
片貝人の原点浅原神社の秋
季大祭には昔から五穀豊穡を願って煙火と相撲と俳句の三つの奉納が続いているとのこと。その一つ、片貝の俳句は江戸時代から盛んになり、明治四十二年に「時雨会」(会長安達栄次郎氏)となって現在まで続いている。そのルーツは芭蕉とのことである。その芭蕉の肖像画と俳句が描かれた時雨会代々の会長名が記された掛け軸と40センチ位の芭蕉の木彫りの座像を飾って会は開催されている。
浅原神社の大祭では、参道入り口に掲げられている大きな夜灯には社務と時雨会で選んだ句が披露され、近年は学童の作品も列記されている。また、江戸中期には会津方面にまで募集した俳句を北信濃の小林一茶の所まで持ち込み、筆の柄の捺印(五字法)で評点し三点以上の評価を得た一万を超える句が一の町の観音様に納められている。筆者も中学校時代当時の時雨会会長の新野楽山さん(新野喜一氏)に課外学習でご指導いただいた記憶があります。
新野氏に依れば、時雨会では片貝独特の「ひきずり蕎麦」も一緒に楽しんだとの事、片貝の粋な楽しみ方の一つだった様子が偲ばれます。

「雪国で手塩にかけて作った“白い宝石”」
米どころ雪国おぢやでつくられた“魚沼産コシヒカリ”
清らかな水と肥沃な土壌で丹精込めて作った逸品です
おいしさと安心を追求した黄金色の稲穂から精米された“白い宝石たち”
その炊きあがりの艶と風味の良さは魚沼産ブランドの名にふさわしい逸品です
詳細は ⇒ JA越後おぢや 検索
JA 越後おぢや
〒94-0021
新潟県小千谷市土川1-12-25
☎0258-83-3525

諸我石材店
墓碑・灯籠
石材加工販売
諸我和成
〒947-0101
小千谷市片貝町一の町
☎0258-84-2317

税務相談
お気軽にどうぞ
もろが会計事務所
諸我時夫(昭32年卒)
柏市増尾8-22-9
自宅☎04-7176-4528
事務所03-3888-4190

第33回

母校を励ます会教育講演会

「脳の活用法」〜正しい言葉の使い方〜

安達 篤氏 昭和53年卒 実生会
平成27年10月9日 片貝中学校にて

母校を励ます会が毎年主催する教育講演会が、片貝中学校全校生徒109名、片貝小学校6年生43名に加え40名ほどの片貝町地域の皆様にご参加いただき開催されました。

今回の教育講演会では、どう言葉を使うかによって、自分が(脳が)受ける影響という最新の心理学をテーマに取り上げ、ご講演いただきました。安達さんの院長や講師としての長い経験に基づく説得力のある語り口に、児童生徒たちはみな最後まで一身に耳を傾けていました。

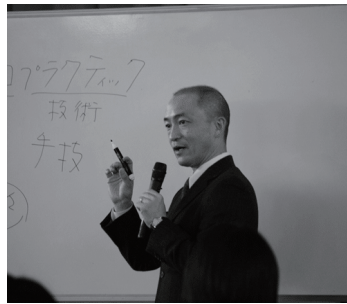
講師の安達篤さんは明治鍼灸大学を卒業後、臨床研修を経て安達カイロプラクティックオフィスを長岡市で開業して23年になります。また平成5年より北陸学園講師を務めておられます。

講演を終えて

安達 篤さん(抜粋)

先ずは、東京片貝会教育講演会でお話しさせていただいたことに感謝申し上げます。浅田会長から講師を依頼したいと持ちかけられた際に、こ

のお話をあまり抵抗なく引き受けられたのは、自分を育ててくれた片貝町や母校に何かお返しができるのではないかと、片貝町の未来を担う中学生、小学生の皆さんにお伝えることができるのではないかと、という思いもあり講演させていただきました。



今回は「脳の活用法・正しい言葉の使い方など」というタイトルで、自分の考えや言葉によって自分の脳も刺激されているため、積極的なイメージや言葉を用いることが脳も積極的な働きができるようになるという内容のお話しをさせていただきました。その他、脳によい食べ物の簡単な覚え方、猫背を自分で矯正す

る簡単な体操なども紹介致しました。講演中に一番印象深かったのは、生徒さんたちの目の輝きです。真剣なまなざしで話を聞いてくれる様子を拝見して、きっと自分の目標に向かって邁進する力がある、と確信しました。講演後の感想文を拝読して、小・中学生とも当を得て内容を理解してもらっていることや一番心に残っている所など書いてきていただき、うれしく思うと同時にとても感心させられました。

移動の際には、私が小・中学校時代の通学路を久しぶりに入り、当時と変わらぬ家並みやお店にホッとする懐かしさがあり、地域の皆さんに育ててもらったのだなあと改めて感じました。片貝町を離れて生活していてもひとたび町に戻れば優しく迎えてくれる町だと思えました。時代の变换対応しながら、よりよい片貝町を創っていくことが大切であり、子供たちの目の輝きが絶えない片貝町のために、皆で力を合わせていかなければならないと思います。

【母校を励ます会基金 協力者名】

- 治、神林勝夫(21)、友田善智、大塚順一(22)、中村恵美子(23)、小嶋ミツ子、新澤須美(24)、石橋行夫、荒木ムツ、佐藤祐一、松岡規子(27)、黒崎 勝(28)、安達 弘之(30)、浅田美智夫、黒瀬良子、芝 満雄、小野塚清、大塚國夫、藤塚 悟(31)、黒崎玲子、吉井信三、諸我時夫(32)、安達 弘(33)、小宮文雄、工藤イツ(35)、松井京子、本田秀幸(37)、芝 強、吉田邦男、小野塚和夫(38)、佐藤正志(39)、岸井久美子、相崎俊夫(40)、内田京子、横山純夫、藤塚 弘、内藤富美子(43)、藤塚伸雄(48)、安達智子、徳永隆浩(52)、徳永雅史(53)、安達良喜、堀井ひとみ(54)、佐藤 潤(55)、吉田貴裕(56)、相崎清輝(57)、友田 啓(58)

若え衆登場

相崎清輝

一心会(昭和57年卒)
四之町出身

門前仲町の名店「魚三酒場」にむかつて左の小路を入ってまもなく、右手のビルの2階に「鮎竹」がある。われらが片貝の金寿司の本田司君から、「東京で一緒に修行した仲間が独立してお店を開くことになった。」と紹介されたその「鮎竹」にお邪魔したの

は一昨年の3月だったと記憶している。うれしいことに、お酒は、「特別純米 田友」が置いてある。一心会の同級生木村明裕君が杜氏を務める酒蔵のお酒で、きれいで柔らかな旨口のお酒である。「鮎竹」のご主人竹内さんは、片貝を訪れたことがあり、お米も片貝から仕入れ、要するに片貝最良のお寿司屋さんなのである。片貝という共通の話題があることから、竹内さんともすぐに打ち解けることが出来た。

ところで、私にとってお寿司屋さんは憧れの存在であり、めつたに入れるものではない。いつもは、BS放送から録画した「早川光の最高に旨い寿司」を見ながら、紙パツクの焼酎を飲んでいる。近所に2件ほど目星をつけたお寿司屋さんがあるが、お店の玄関先で「お金が足りなくなつたらどうしよう。」というマイナス思考で頭が一杯になり、いつもひきかえしてしまふ。そんな気弱な私でもなんとか高い敷居を跨ぐことが出来たのは木村君と司君のおかげであり、片貝のおかげだと思つている。

お店情報*鮎竹(すしたけ)

江東区富岡1・5・15

03・6240・3357

社長の相談役

商売力を強化
新たな市場を開拓
神楽坂コンサルティング株式会社
竹内一郎、藤塚伸雄
03-4570-0655
http://www.kuruzo.com

「患者さんとお医者さん」
～にゃんこ先生奮闘記～
安達昌子 著
人に寄り添う医療を求めて

発売：丸善出版
発行：マイウェイ書房
03-5826-5787
http://www.myway-kyokai.gr.jp
info@myway-kyokai.jp

感動空間 新宿レフカダ

落語、漫才、コンサート
楽しい事がここにある!

芝 強(昭38年卒)
新宿区新宿5-12-4
03-5366-0775
http://lefkada.jp/

有限会社

小山印刷

黒崎 雅仁

〒152-0002

目黒区目黒本町3-14-16

03-3713-0529

FAX 03-3716-1570

koyamainsatsu@s9.dion.ne.jp

※有料企業広告を募集中※

ちんぷん・は・ん

H27年6月より
H27年11月まで

■小学校 楠田教頭先生

◆片貝まつり・九月八日の前夜祭では、四・六年生の巫女爺クラブが、これまでの練習の成果を『に組会館前』で発表しました。また十日の祭り当日には、五・六年生79名の鼓笛隊が大通りをパレードし、大勢の地域の方から温かい声援を受けて子供達の大きな自信となりました。

◆研究発表会から・十一月六日に、県の中越音楽教育研究発表会が当校を会場にして行われました。小学校は六年二組児童、中学校は二年B組生徒が授業の様子を公開しました。約100名の教員を前にしての堂々とした授業態度と学習内容に、多くの参観者からお褒めの言葉をいただきました。六年生は木遣の学習で、当日は伝統芸能保存会からも五名の方が参加してくださいました。会長の名塚孝一様は、片貝の木遣をいつまでも残していくために、声をはりあげ唄い方を工夫している子どもたちの姿に、大変感動されました。片貝の素晴らしさが垣間見られた場面でした。

◆児童の活躍・各大会の優勝者紹介・市親善水泳大会五年男子百m背泳ぎ品田絃喜・五

■中学校 南雲教頭先生

平成27年度は市内大会で常勝のパレー部が優勝し9連覇を達成。野球部は1対0の接戦を制し2連覇。また吹奏楽部は20数年ぶりに新潟県吹奏楽コンクール出場等、文武両面の幅広い分野で光り輝いていました。公式の結果と女子バスケットボール及び水泳も紹介致します。これらの他にも、冠大会、県外遠征、合同強化練習等を含め、どの部活動も地域の方々・保護者の皆様の熱いバックアップのもと、生徒たちは積極的に活動しております。

*以下の○内順位◆三市一郡陸上競技大会・共通女子千五百m④五十嵐生樂1女子

町のおきかい

八百里⑤小林萌香◆市内各種大会・野球①、男子団体③、女子団体②、女子個人①青木玲緒②門倉奈海、女子バレーボール①、男子バスケットボール②、女子バスケットボール①◆中越地区各大会・卓球女子団体②、女子個人③青木玲緒③門倉奈海、女子バスケットボール③、水泳二百m個人メドレー⑤品田琴子、百m背泳ぎ⑧品田琴子◆吹奏楽コンクール中越地区大会・金賞

◆新潟県総合体育大会・卓球女子団体予選、女子バスケットボール1回戦、水泳二百m個人メドレー⑫品田琴子百m背泳ぎ⑫品田琴子◆新潟県吹奏楽コンクール・銀賞◆市内新人大会・男子バスケットボール①、女子バスケットボール①、卓球男子団体③、女子団体②、女子個人小宮美空②パレー③◆中越地区駅伝大会・男子④③、女子②⑧◆第51回小千谷市児童生徒科学研究発表会・優秀賞鈴木ふう(1年)

くだものの糖度変化について、入澤芽生(1年)液体への水の溶け方、横山 生(1年)卓球のボールのはね方の実験◆中越地区中学校読書感想文コンクール・優秀賞五十嵐沙月、金澤日南◆科学作品展覧会・金賞 佐藤真帆(2年)生活排水の植物への影響、高野葵(1年)のりのくつつく力

◆私立版「片貝の伝説」出版
小宮善興氏(陽光会)が地元に残る伝説二七話をまとめ、私家版(B5版42頁)として出版された。文字とイラストはすべて手書きで仕上げられている。小・中学校、総合センターに各々二部を寄贈された。広く閲覧していただけるよう市立図書館でも蔵書される。知らなかった郷土を再発見できる必読の一冊。



片貝の伝説

・三大奉納「開巻」開催
時雨会は、8月22日浅原神社社殿で奉納俳句「開巻」を行った。14名が選考に当たり、三光、七客の秀作と中学生の秀句十三句が選ばれた。なお、時雨会の詳細はコラムご参照

・祭りお囃子コンクール結果
今年、若の部①い組②五部③に組、小若の部①い組②ま組③に組となった。い組の両部門制覇である。

・片貝杜氏の矜持
木村明裕氏が杜氏を務める清酒「田友」特別純米酒が、全

日空の閑空ラウンジで期間限定にて提供される新潟県下の14銘柄に選ばれた。
・第19回片貝町健康ウォーク
6/7片貝丘陵、宝徳興社、巴ヶ丘自然公園を巡る11kmのコースを、町民約220名が参加して好天の中汗を流した。
・銅メダル小野塚選手講演会
6/24、小野塚彩那選手(フリースタイルスキー銅メダリスト)の講演が片貝中学校で同窓会行事の一環で開催。

・第32回片貝芸能まつり
7/24、総合センター大ホールで12時半から開催。出演多数で、中学校吹奏楽部、池津民謡保存会、ことぶき会、礼光舞会、とし藤会、三友会、出雲琉めく美会、ささらぎ会、紅葉会、片貝伝統芸能保存会。
・巧みの技・漆喰饅頭展
四之町の黒崎剛さんの作品「闖魂」が第16回全国漆喰饅頭コンクールで応募47点の中から頂点の最優秀賞を受賞した。題材の牛の角突きを、細かな質感で生命力豊かに表現していることが評価された。
・第16回JAソフトパレー開催
JA越後おぢや片貝中央支店主催で8/2に大会が開催された。男子11チーム、女子8チーム、総勢260名参加。男子の部①町裏②寺町③鴻巣女子の部①二之町・茶畑②寺町③五之町という結果だった。

会員訃報

石井ユリ様 (昭19卒、和進級友会)
吉井 宏様 (昭48卒、二葉会)

友を悼む

去る10月14日に不慮の事故で急逝された双葉会・理事の吉井宏氏に、同級会を代表して佐藤正敏様より追悼文をお寄せいただきました。ここに謹んで掲載させて頂きます。
「吉井宏君は東京片貝会理事・東京双葉会会長として、東京と故郷片貝町を繋ぐ架け橋の役目を担っていました。私達は彼の遺志を受け継ぎ、彼が愛して止まなかった片貝町の発展に寄与する決意を新たにしています。」

光陰矢のごとし、日々はささやかだが、積み重ねは大きい。あとがきに代えて藤塚伸雄